

平成23年度

自然再生モデル林内動物生息調査状況調査取りまとめ報告書

中赤石山国有林2060い1林小班内

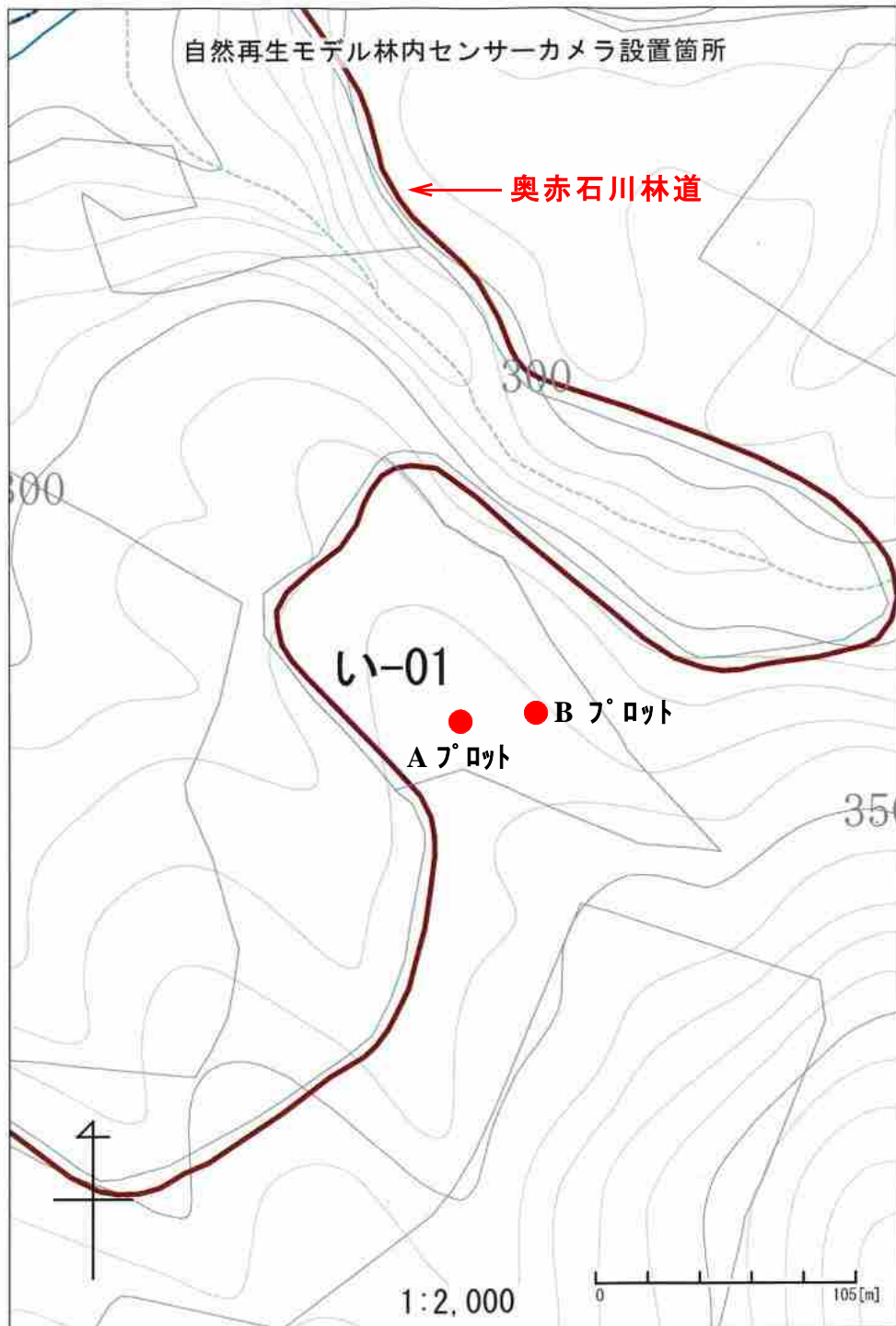


津軽白神森林環境保全ふれあいセンター

1. はじめに

津軽白神森林環境保全ふれあいセンターでは、平成20年度に奥赤石川林道沿いの中赤石山国有林2060い1林小班を「自然再生モデル林（面積0.91ha）」を設定し、3箇所のプロット（10m×30m）を設けた。

そのプロット内の一部を抜き伐りし、稚樹の発生状況及び動物生息状況調査を行ってきた。今年度も9月26日から10月3日までの8日間について、AプロットとBプロットにおいて動物生息状況調査を行い、調査結果を取りまとめたので報告する。



自動撮影調査 記録用紙

津軽白神森林環境保全ふれあいセンター

東北森林管理局 津軽森林管理署
装置設置日 2011年9月26日
装置回収日 2011年10月3日

装置機種: フィールド・ノートDCs600・700
誘因物:

林小班 中赤石山2060い1林小班
方位 北西
森林タイプ: 人工林 発達段階: 若齢
自然再生モデル林 プロットA

標高 320m~350m
林齢: 24年生

〈現地調査〉

月 日	時刻	天候	枚数	痕 跡	備 考
10月3日	11:30	小雨	17枚		

〈写真解析〉

No.	月日	時刻	確認種	備考
1	9月26日	14:28:44		
2	9月26日	18:21:10		
3	9月27日	0:35:22		
4	9月29日	18:53:38	ツキノガメ	
5	9月29日	18:53:50	ツキノガメ	
6	9月29日	18:54:02	ツキノガメ	
7	9月29日	18:54:12	ツキノガメ	
8	9月29日	18:54:24	ツキノガメ	
9	9月29日	18:54:34	ツキノガメ	
10	9月29日	18:54:46	ツキノガメ	
11	9月29日	18:54:56	ツキノガメ	
12	9月29日	18:55:08		カメラ落下
13	9月29日	18:55:18		
14	9月29日	18:55:36	ツキノガメ	
15	9月29日	18:55:54	ツキノガメ	
16	10月3日	4:18:20		
17	10月3日	4:46:48		

No.	月日	時刻	確認種	備考

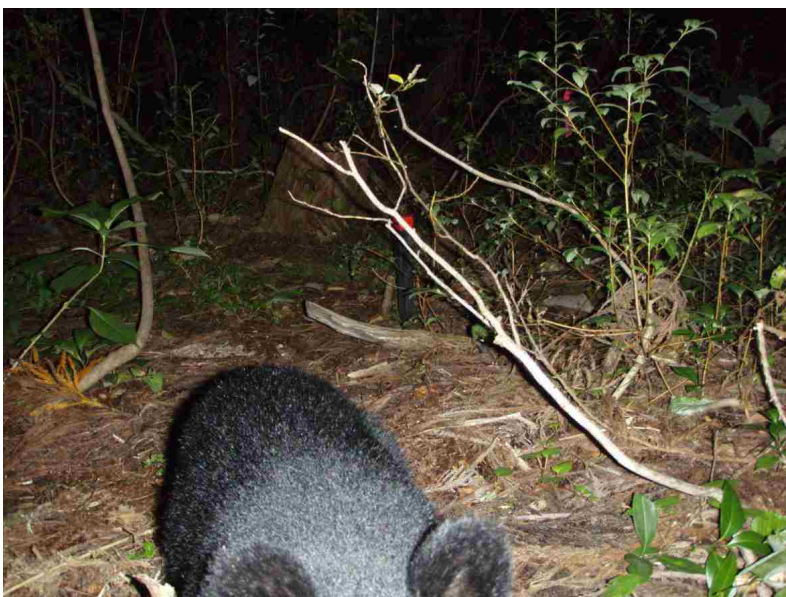
自然再生モデル林内センサーカメラ写真（Aプロット）



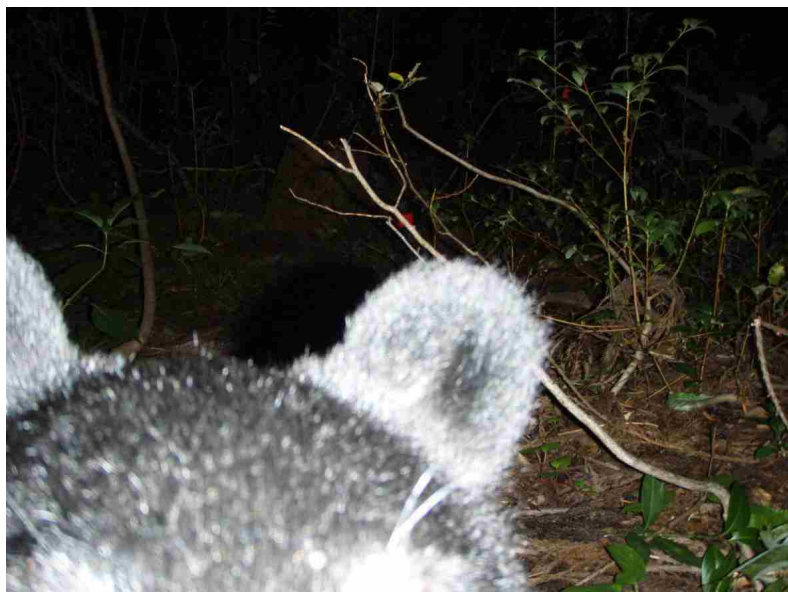
装置機種：フィールド・ノートDCs700
確認種：ツキノワグマ
撮影日：平成23年9月29日
撮影時間：18時53分38秒



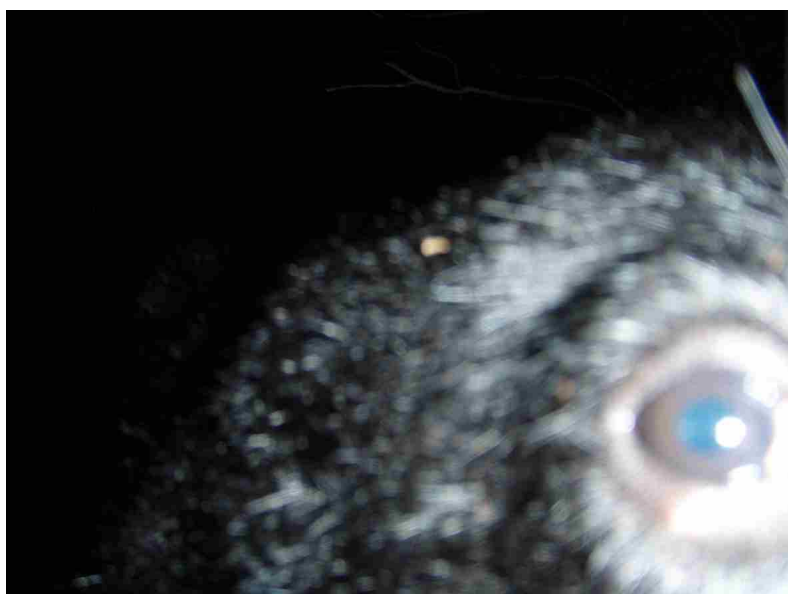
装置機種：フィールド・ノートDCs700
確認種：ツキノワグマ
撮影日：平成23年9月29日
撮影時間：18時53分50秒



装置機種：フィールド・ノートDCs700
確認種：ツキノワグマ
撮影日：平成23年9月29日
撮影時間：18時54分02秒



装置機種：フィールド・ノートDCs700
確認種：ツキノワグマ
撮影日：平成23年9月29日
撮影時間：18時54分34秒



装置機種：フィールド・ノートDCs700
確認種：ツキノワグマ
撮影日：平成23年9月29日
撮影時間：18時54分56秒

※この写真が撮影された直後、ツキノワグマがセンサーカメラに接触（或いは激突）し、固定されていたセンサーカメラが地面に落ちる。（10月3日にセンサーカメラを回収に行ったところ、センサーカメラが落下していたため、不思議に思っていた。）



装置機種：フィールド・ノートDCs700
確認種：ツキノワグマ
撮影日：平成23年9月29日
撮影時間：18時55分54秒
地面に落下したセンサーカメラから撮影されたツキノワグマ

自然再生モデル林内センサーカメラ写真（Bプロット）



装置機種：フィールド・ノートDCs600
確認種：ニホンザル
撮影日：平成23年9月26日
撮影時間：15時46分00秒



装置機種：フィールド・ノートDCs600
確認種：ニホンザル
撮影日：平成23年9月26日
撮影時間：15時46分18秒



装置機種：フィールド・ノートDCs600
確認種：トウホクノウサギ
撮影日：平成23年9月26日
撮影時間：22時40分44秒



装置機種：フィールド・ノートDCs600
確認種：トウホクノウサギ
撮影日：平成23年10月1日
撮影時間：19時07分36秒

◎まとめ

本年度の調査は、秋の1回のみ調査を行った。今までは、カモシカ・ニホンザル・アカネズミ・キツネ・ホンドテン等を撮影することができたが、今回初めてツキノワグマを撮影することに成功したことは、大変喜ばしいことである。

今回のツキノワグマの撮影成功は、自然再生モデル林内の周辺を、今年度、津軽森林管理署で本数調整伐を行い、林内に空間ができ、ツキノワグマのような大型の動物類も比較的移動しやすくなったことも一因と考えている。

また、中程で記述したが、26日にセンサーカメラを設置して、3日に回収に行った際、センサーカメラが地面に落下していた。これは、センサーカメラに映っていた映像から、ツキノワグマがセンサーカメラ前を移動していたとき、センサーカメラが反応し、フラッシュがたかれ、それに反応したツキノワグマが、センサーカメラに向かってくる映像が確認されている。その際にツキノワグマの頭部又は胴体が接触して落下したものと推測される。(センサーカメラを取り付けたホオノキやセンサーカメラの雲台に爪など引っ掻いた形跡は無かった。)

今後は、10月下旬に緑の回廊内(青森県・秋田県県境)で「動物生息状況調査」を行う予定である。